



2023年度 JAいるま野

コンテスト

審査結果

管内の風景を後世に伝えようと、今年4月から7月にかけて募集した「JAいるま野写真コンテスト」。今回は、19人の方から計45点のご応募をいただきました。審査結果は、以下の通りです。なお、入賞作品8点は、「2024年版JAいるま野カレンダー」に掲載する予定です。



### 最優秀賞「畑の番人」

原田 和義さん

フレームの半分を占めるくらいダイナミックに撮影しました。迫力があり、まさにタイトル通り、鳥獣害を寄せ付けない「畑の番人」といえるでしょう。説得力がありました。



### 優秀賞「期待のスマート農業」

田中 圭さん

水田を照らす夕陽がとてもきれいです。農地集積をして1枚当たりの田んぼが大きいことが分かり、夕陽と現代農業の象徴であるスマート農業がうまく調和しています。



### 優秀賞「あばれ獅子」

森田 栄一さん

祭りの躍動感が伝わる作品です。高齢化で地域の文化・伝統が廃れていく中、伝統芸能を守りたいという思いが伝わります。



- ◆「桜の咲くころ」
- ◆「里の春」
- ◆「早苗」

光井 貞二さん  
須長 甲子男さん  
諸井 敏江さん

◆「ちょっとお手伝い」

◆「いよいよ田植えシーズン」

久保田 省三さん

荻島 賢吉さん